

# 福岡県労連

## KEN ROREN

ZENROREN

2025  
12月号  
No.226

発行所 福岡県労働組合総連合  
〒815-0081 福岡県福岡市南区那の川  
1丁目3-6 福建労東西支部会館3階  
☎092-401-2293 FAX 092-401-2294  
編集発行  
福岡県労働組合総連合  
福岡県労連 検索



〔定価〕  
1部10円

春闘共闘総会・26春闘討論集会

# 運動に確信を持ち、 生活できる賃金を 勝ち取ろう

2025年12月7日、福建労東西支部会館2階で福岡県春闘共闘25年度総会と26春闘討論集会が開催されました。討論集会では基調講演として国民春闘・全労連の黒澤事務局長より26春闘の焦点としてご講演いただきました。



閉会挨拶をする米地地区春闘議長



様々な意見が交わされたグループ討論

様々な意見が交わされたグループ討論。据え置きとなりま

継続的な宣伝行動で組織拡大に  
組合員拡大のために毎月戸畑駅で、労働相談チラシを配って宣伝行動を行っています。ある分会では、11月12月に5名拡大し、いまでは40名になりました。その分会では定期昇給だけではなくベースアップを要求し、

自治労連 三浦さん  
生計調査を行い、攻めの姿勢へ

国の人事院勧告をうけて今年3%の引き上げ改定となりましたが、給与制度のアップデートによって能力主義が強化され、一般職員の手当をはぎとってキャリアに分ける改定が行われています。また自治体病院では、原資がないことから給与改定は据え置きとなりま

医労連 門馬さん  
全体でカバーする体制をつくり、萎縮しないストライキを

昨年の春闘では診療報酬引き上げをもとめる政策ストライキが提起され、多くの病院でストライキ

した。自治労連では来春闘期に生計調査を行います。この調査は人勧ありきの受動的な姿勢から攻めの姿勢に転じるため、生計費をもとに賃金要求を行おうというものです。来年は福岡市長選、再来年は北九州市長選があります。私たちの要求を実現させるためにも首長選は重要です。市民と野党の共闘をひろげて私たちの要求を実現できる首長を誕生させましょう。



団結ガンバロウ

講演では「25春闘をどうみるか」というところでは、賃上げがあったものの医療職種で年末一時金の引き下げが行われ、年間収入では引き下げとなることから、ケア労働者の賃金はまったく上がらなかった。この間、力を入れて取り組んでいる最低賃金引き上げの運動では、政府に最低賃

金引き上げを言わせるまでになった。運動の成果として確信を持っている。最低賃金の運動では企業の支払い能力ということに対して最低生計費調査で必要な生計費をあくにかに引き上げをせまってきた。同様にケア労働者のたたかいにおいても診療報酬がマイナス改定で経営が苦しいから賃上げできないというのではなく、生計費にもとづいて生活に必要な賃金を要求する

ということが重要。組合員の生活実態をつかみ、ストライキを背景にして交渉をする。そのためにはいまから春闘期にむけて組織拡大をすすめていく必要がある。対話と学びあい、労働組合の価値を語り、仲間を増やして春闘勝利をめざそう」という話がありました。

その後は春闘方針について全体討論を行い、全体討論のあとはグループ討論で、「26春闘で重視したいこと」について話し合いました。

討論の一部をご紹介します。

### VOICE

1987年1月に結成された「大規模間接税・マル優廃止反対各界連絡会」、運動は大きく盛り上がり、売上税とマル優廃止法案を廃案に追い込みました▼ところが1988年12月24日、自民党の竹下内閣が消費税法を強行成立させ、翌年4月1日から3%で実施されました▼これ以降12月24日と4月1日には、日には多少前後しても毎年集会と宣伝行動を各地で実施しています▼その後、1994年9月に「消費税廃止各界連絡会」に改称。橋本内閣による5%への税率引き上げ、民主、自民、公明の3党合意に基づいて安倍内閣が実施した8%、10%への税率引き上げ、岸田内閣によるインボイス導入などに一貫して反対し、全国津々浦々で草の根の運動を広げてきました▼朝日新聞社等の調査によれば、消費減税賛成派は、参院選当選者全体の64%▼「消費減税」の声を無視する内閣にはご退場いただきます。(ゆ)



# 第35回人間らしく働くための九州セミナーin大分参加報告



退任される田村議長に顕彰状が贈られました

福岡県労連議長 長田 洋一

九州セミナーに関わる一員として、「楽しくなければ、九州セミナーじゃない」を合言葉に、今後も仲間とともに運動を発展させていきたい。



大分大学石井まこと教授の記念講演



交流会であいさつをする山中副議長



共同議長就任あいさつをする渡邊事務局長

第35回記念大会「人間らしく働くための九州セミナー」が11月15・16日、J・COMホルトホール大分にて開催された。今回の基本コンセプトは「はたらく私たちの健康権を創造する」であり、参加者の一人として2日間有意義に学習できたことに心から感謝したい。

初日の記念講演では社会運動の展望について示唆を受け、続くパネルディスカッションでは「自己責任とは何か」を深く考える機会となった。

2日目のテーマ別分科会では、私からエフコプの熱中症対策について報告を行い、参加者と課題を共有できた。さらに、田村議長が今回をもって退任されることから、本セミナーは大きな節目ともなった。



北九州地区での宣伝行動

## 全国一いつせいの宣伝行動 全国一律最低賃金を実現しよう

11月16日、福岡県の最低賃金は、992円から65円上がり1057円になりました。

福岡県労連は、11月19日に博多駅筑紫口で最低賃金が改定されたことを周知することと全国一律最低賃金制度実現署名への協力を訴える宣伝行動を行いました。北九州地区労連は20日に小倉駅で宣伝行動を行いました。

宣伝行動では、以下の内容を訴え、この機会に最低賃金の在り方についてみんなで考えましようと呼びかけました。博多駅ではチラシが入ったティッシュ100個を配布し、小倉駅での行動では、短時間で約300枚のビラを配布し、市民の関心の高さを感じました。

福岡県労連は2017年にこの憲法が規定する最低限度の生活をおくるのにどのくらいの費用が必要なのかという調査(最低生計費調査)を行い、2024年に物価高騰分を加味して改定を行いました。その結果、最低限度の生活をおくるのに時給1700円は必要という結果になりました。い

ますぐ最低賃金の大幅引き上げが必要です。そのためにも労働者の大多数が働いている中小企業に対して実効性のある支援が必要です。

中小企業は苦しい経営をしている一方で、大企業の内部留保は、過去最高を更新し続け561兆円にもなっており、労働分配率は、

11月14日、音羽公園で、年金者組合福岡県本部主催の「年金一揆」が開催されました。

集会では連帯挨拶として渡邊事務局長が「年金は賃金と同じで生活に資するものです。そうであるならば生計費にもとづいて決められるべきものです。生活できる年金を確保するために年金者組合が要求されてきた最低保障年金制度の実現をめざして共に



がんばりましょう」と挨拶しました。その後は年金引き下げ違憲訴訟の弁護団のはかた法律事務所の前田牧先生から挨拶がありました。集会のあとは、福岡センタービル前でデモ行進を行いました。



挨拶をする渡邊事務局長



### 保険証かえして！宣伝行動

12月1日、協会けんぽなどサラリーマンが加入する保険証が有効期限切れになることをつけて、マイナ保険証一本化を撤回して紙の保険証の継続をもとめる宣伝行動が博多駅博多口で行われました。この行動は医療機関労働組合などで構成されている「保険証かえしてネットワーク」が主催して行いました。ネットワークでは、マイナ保険証によって医療機関や行政窓口でさまざまなトラブルがおきている現状があること、デジタル化を否定してしるわけではなく選択できるようにしてほしいということなどを訴えていることを市民にアピールしました。宣伝行動の様子は多くのメディアで取り上げられました。